

新基地建設反対名護共同センターニュース

「軟弱地盤の調査不十分。見切り発車許さない」 「なぜ不承認か」の学習会でデニー知事がきっぱり



小波津さんと講演するデニー知事

「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」は7日、感染症対策をとり那覇市内で玉城デニー知事を迎え「学習会・なぜ設計変更不承認なのか」を開催しました。

デニー知事は、防衛局からの設計変更申請を不承認とした理由について、公有水面埋立法に照らして軟弱地盤に關しての調査が不十分なことやジュゴンなど環境に及ぼす影響などを上げ、国が工事を強行していることは「見切り発車だ」と批判、設計変更不承認の正当性について講演しました。

基調講演で専修大学の白藤博行教授は地方自治無視の沖縄への理不尽な国の対応を批判し、「県は県民の生命・財産を守るために埋立承認そのものを取り消すことも可能」と指摘しました。

シンポジウムでは「お笑い米軍基地」の小波津正光さんが司会し、立石雅昭新潟大名誉教授、ジュゴン保護キャンペーンの吉川秀樹氏、ガマフヤーの具志堅隆松代表、防衛ジャーナリストの半田滋氏、白藤教授が報告と討論を行いました。

小波津さんの笑いを誘う進行のもと、低すぎる震度設計や遺骨混じりの土砂使用、環境問題など様々な角度から辺野古新基地建設の問題点が浮き彫りとなり「完成は不可能」との声が出されました。



具志堅さん 吉川さん 立石さん 白藤さん

耐震性、環境、土砂問題などで完成不可能だ！

第4ゲート付近 はげ山にキャンプ・シユワブの弾薬庫近くの第4ゲート付近は、写真のようにこの3カ月ほどで乱暴に森林の伐採が強行され、はげ山状態になっていきます。美謝川切り替え工事用の道路や作業スペースづくりを強行しているためです。



当センターニュースのデータ集 「辺野古のたたかい」7年間の記録 全国から申し込み殺到！

4月20日以降発売開始した当共同センターニュースのDVDへの申し込みが殺到しています。

内田雅敏弁護士が「貴重な記録！」

東京の内田雅敏弁護士（写真）は「戦争をさせない1000人委員会」の事務局長をしていますが、いち早くDVDの購入を申し込んでくれました。



内田さんは「貴重な記録ですね」と語り、代金と共にカンパも寄せてくれました。このほか北海道から沖縄まで辺野古のたたかいの支援者から申し込みが相次いでいます。

名護市でブルーアクション

島ぐるみ会議名護は7日、名護市内でブルーアクションに取り組み市民10数人がスタンディングを行いました。市民と名護市議がリレートークを行いました。吉居俊平市議は「ロシアのウクライナ侵略ではっきりしたように、戦争になったら軍事基地は真っ先に敵の標的になる。沖縄の未来を脅かす辺野古新基地建設を中止させよう」と訴えました。若い女性ドライバーが笑顔で手を振ってくれました。



デニー知事が新たな建議書公表



辺野古断念 国に要求

復帰50年 県が建
地位協定の改

「琉球新報」は7日、辺野古新基地建設を断念し、日米地位協定の抜本改定を求め、日本国憲法の理念の追求などを日米両政府に求めています。



玉城デニー知事は7日、沖縄の本土復帰50年に合わせた「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」を公表しました。1971年に屋良建議書が求めた「基地のない平和な沖縄」や辺野古新基地の断念、日米地位協定の抜本改定、日本国憲法の理念の追求などを日米両政府に求めています。